

函南の未来を 次の世代へ

函南町は、昭和 38 年 4 月 1 日に町制が施行し、60 周年を迎えました。

大きな節目を祝い、記念式典と講演会が行われました。

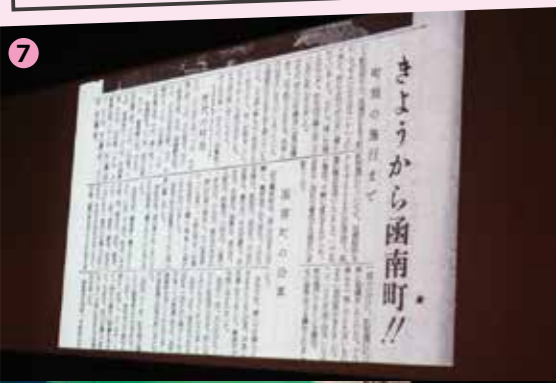
問合せ／企画財政課 (979-8101) ・生涯学習課 (979-1733)

みんながつないだ
函南を振り返る

7 月 29 日、文化センターで函南町町制施行 60 周年記念式典・講演会が行われました。会場には、多くの来賓や函南町の発展に尽力されたさまざまな団体の代表者などが参加しました。式典は、町民有志の太鼓の演奏で始まり、姉妹都市のカーマン市長からのビデオメッセージ、記念スライドショー上映、町内の合唱団体によるふるさとへの歌「函南讃歌」の合唱など町の歴史に思いをはせました。講演会では、鎌倉国宝館館長の山本勉さんを招き、仏の里美術館の仏像について詳しく紹介していただきました。



①町三役とカンちゃん、ナミちゃんが式典来場者をお出迎えました。②岩田県議会議員からの祝辞。③田口町議会議長からの祝辞。④間宮宮太鼓保存会がお祝いの太鼓を披露しました。⑤式典壇上の様子。⑥町長の先導に合わせ、来場者で町民憲章を唱和しました。⑦記念スライドショーで「かなみのあゆみ」を上映しました。⑧函南町のゆるキャラが一堂に集まりました。⑨町民の団体による函南讃歌の合唱。⑩仏の里美術館の仏像について解説がありました。⑪自己紹介をする講演会の講師の山本勉さん。⑫姉妹都市のカーマン市長から 60 周年を祝うメッセージをいただきました。⑬町民合唱団体の有志に国歌斉唱の指揮をしていただきました。



Get to Know Kannami 函南を知る

【町の木：ひめじやら】

ひめじやは、夏につばきに似た白い花が咲く、つばき科の落葉喬木です。樹皮がなめらかなので、さるすべりと間違われることがあり、さるた、さるなめりとも呼ばれています。幹は赤黄色で、枝が細く赤褐色をおび、多数の小枝に分かれています。箱根山原生林の代表的な樹木であり町制施行 10 周年を記念して、昭和 48 年 4 月 1 日に、町の木に制定されました。

【町の花：はこねぎくら】

はこねぎくらは、富士から箱根にかけての山地に多く自生しているまめぎくらの別名です。4 月ごろ小さい花が咲き、非常に可憐で、郷土に適しており、育成も容易なため町制施行 10 周年を記念して、昭和 48 年 4 月 1 日に、町の花に制定されました。

【町章】



丸は平和を示し、垂直、水平線は厳しさを物語るもので、これを和でつないで一字の中に明るい町を表現しています。昭和 44 年 6 月 18 日に制定されました。

【函南讃歌（ふるさと讃歌）】

函南讃歌
土屋弘光 作詞
小林 登 作曲

一 明けゆく空に 富士そびえ
箱根山脈 あかね色
原生の森 はてしなく
ああ、わがふるさと 函南よ

二 かがやく街に 笑みあふれ
日金山脈 黄金色
来光の川 ゆるやかに
ああ、わがふるさと 函南よ

三 伸びゆく街に 虹が立ち
希望山脈 琥珀色
新しい風 さわやかに
ああ、わがふるさと 函南よ